

■ 悠久の森

白神山地の森林の起源は、今から約12,000～8,000年前に遡ります。かつて北日本を覆った冷温帯ブナ林が世代更新を繰り返し、連綿と受け継いできた自然の営み。それが白神山地の大いなる価値であり魅力といえます。

白神山地の森林では、日本海側内陸部特有の多雪環境の下、日本固有のブナが高木層を優占し、林床にはチシマザサを含む多様な植物が生育しています。また、ブナ林の多様な森林環境は、クマガラ、イヌワシなどの希少な鳥類や、ニホンカモシカ、ツキノワグマなどの大型哺乳類の生息地にもなっています。

そして人々も、山菜やきのこ採り、狩猟や炭焼きを通じて、この悠久の森の恵みを受けて暮らしてきました。

■ ブナの一生

●花
5月頃開花

●実
豊作は
5～7年に一度

早春の頃
発芽

●芽生え

●成木
開花まで40～50年
寿命は約300年

ほとんどが数年のうち
に光不足や気象害で枯れてしま
い、成木まで育つものはごく
わずか

■ 白神山地の動植物



森歩き的心得

■ 白神山地を守るために…

- *決められた道歩く
- *動植物を傷つけない
- *ゴミは持ち帰る
- *トイレは入山前に済ませる
- *たき火はしない
- *ペットを同伴しない
- *魚釣りはしない（世界遺産地域は全域禁漁区に指定されています）

■ 万全の準備で安全第一

しっかりした靴・服装で、水・食料を携帯し、けがのないよう無理せず歩きましょう。

■ クマやハチに注意

- *ツキノワグマは人の気配を感じるとたいてい逃げますが、突然出会うと驚いて襲ってくる危険があります。鈴、笛、ラジオ等で自分の存在を知らせ、遭遇を避けましょう。
- *スズメバチによる刺傷も非常に危険です。見つけたら静かにその場を立ち去りましょう。



■ 世界遺産・核心地域への入山規制

登山が目的の場合、青森県側の指定されたルートに限り届出により入山できます。登山以外の学術調査や報道等が目的の場合は、事前の許可が必要です。手続きについては以下の管轄森林管理署へお問い合わせください。

- *津軽森林管理署（青森県側）
〒036-8101 青森県弘前市大字豊田2-2-4
TEL：0172(27)2800 FAX：0172(27)0733
- *米代西部森林管理署（秋田県側）
〒016-0815 秋田県能代市御指南町3-45
TEL：0185(54)5511 FAX：0185(54)5514

■ 白神山地に関する情報

白神山地の森林の見どころについては、以下の森林生態系保全センターまでお問合せください。また、東北森林管理局ウェブサイト（下記）もご覧ください。

- *津軽白神森林生態系保全センター（青森県側）
〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町 25-2
TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932
- *藤里森林生態系保全センター（秋田県側）
〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3
TEL：0185(79)1003 FAX：0185(79)1005



林野庁 東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16
TEL：018(836)2214
FAX：018(836)2012
Web：www.rinya.maff.go.jp/tohoku/



世界自然遺産

白神山地

悠久の森を歩く

白神山地。東アジア最大の原生的なブナの森林に覆われたその山々は、標高約200mから1,250mまでにわたり、青森県と秋田県の県境にかけて広がっています。

この貴重な森林を後世に引き継いでいくため、林野庁では1990（平成2）年、白神山地の中心部を成す国有林16,971haを森林生態系保護地域に指定しました。

1993（平成5）年にはその全域が、屋久島とともに日本で初めてのユネスコ世界自然遺産に登録され、関係機関が一体となって白神山地の保全・管理に努めています。

■ 森林生態系保護地域とは

国有林のうち、自然環境の保全を第一に管理する「保護林」の一種です。原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的として設定しています。

世界遺産 地域区分	全体	所在県別内訳(※)	
		青森	秋田
核心地域	10,139	7,673	2,466
緩衝地域	6,832	4,954	1,878
計	16,971	12,627	4,344

※青森県側を津軽森林管理署、秋田県側を米代西部森林管理署が管轄



東京からのアクセス

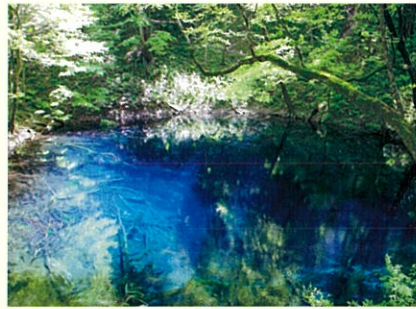
- [航空機を利用]
●羽田空港→青森空港(1時間20分)
●羽田空港→秋田空港(60分)
●秋田空港→大館能代空港(1時間10分)
[新幹線を利用]
●JR東京駅→(JR盛岡駅経由)→JR新青森駅(約3時間30分)
●JR東京駅→(JR盛岡駅経由)→JR秋田駅(約4時間)

凡例

- 白神山地世界遺産地域
- JR新幹線
- 高速道路
- 国道
- JR路線
- 県道

息づく大地の神秘

1704年の大地震に伴う地形の変化が生み出したとされる33の湖沼群。大崩から展望すると12の湖が見えることが名の由来。白い岩肌が露出した日本キャニオンとあわせ、森林と湖沼が神秘的な景観を織りなす。



青池



日本キャニオン

Juniko

十二湖

アクセス

JR十二湖駅から車または路線バスで10～15分
国道101号線から県道280号線

散策路

所要時間：1時間半～3時間
難易度：★～★★



遺産の森を一望

世界遺産地域の緩衝地域のブナ林を通して開けた頂上に出ると、核心地域の広大なブナ林と、白神岳、向白神岳が連なる白神アルプスをはじめ、岩木山、日本海、はるかに男鹿半島まで一望できる。



白神アルプス



ブナ林の登山道



アクセス JR八森駅から車で40分 国道101号から 真瀬林道、春秋林道

散策路 所要時間：往復2時間～2時間半 難易度：★★★

Futatsumori

二ツ森

白神山地 森林歩き四選



凡例

- 核心地域
- 緩衝地域
- JR路線
- 県境
- 国道
- 県道
- 林道

■散策路図の凡例

- 歩道
- 車道
- 看板・標識
- トイレ
- 車椅子可
- 駐車場
- バス停

★難易度

- ★ 傾斜が少なく、とても歩きやすい。
- ★★ 一部に急な傾斜や滑りやすい箇所がある。
- ★★★ 急な傾斜がある登山道。足下要注意。

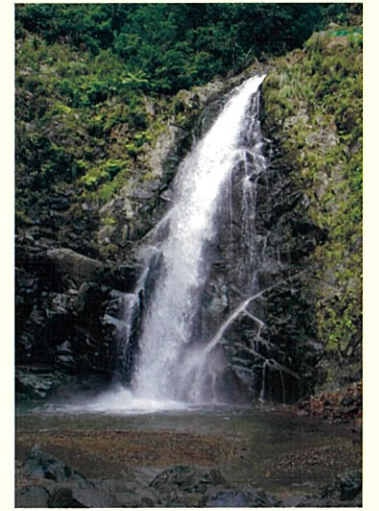
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図を複製したものである。(承認番号 平26情復、第738号)

古より伝わる名勝

世界遺産地域の緩衝地域を流れる暗門川に連なる3段の滝は、上流側から第一、第二、第三と数えられる。かつては秘境であり、江戸時代の紀行家・菅江真澄が訪れた。白神山地を代表する名勝。



ブナ林散策道



暗門第三の滝

暗門の滝

Annon Falls

アクセス JR弘前駅から車または路線バスで90分
県道28号線

散策路 所要時間：往復2時間半～3時間
難易度：★★



ブナの鼓動を体感

藤里駒ヶ岳中腹の斜面に広がるブナ林。苔むした巨岩と調和した景観はまるで自然庭園のよう。一部車椅子でも利用できる遊歩道が整備され、ブナの若木から樹齢400年といわれる老木までを間近に体感できる。



新緑のブナ林

岳岱

Dakedai



400年ブナ

アクセス

JR二ツ井駅から車で60分 国道7号線県道から道317号線、黒石林道

散策路

車椅子利用可能なウッドチップ歩道(約700m)
所要時間:1時間～1時間半 難易度:★～★★